

2025/02/10

報道関係者各位

アンリツ株式会社

## DesignCon 2025 に最先端 PCI-Express® 6.0/7.0 の信号品質 ソリューションを出展

高速シグナルインテグリティのデモンストレーション – 初期検証から詳細な評価まで

アンリツ株式会社（社長 濱田 宏一）は、2025年1月29日から1月30日まで米国サンタクララで開催された DesignCon 2025 において、革新的な PCI-Express® 6.0/7.0 (PCIe 6.0/7.0) の高速信号品質評価ソリューションを展示しました。本展示では、シノプシス社、テレダイン・レクロイ社、テクトロニクス社と共同で、アンリツのシグナルクオリティアナライザ-R MP1900A BERT (MP1900A) を用いた PCIe 6.0/7.0 のテストソリューションをデモンストレーションしました。

### デモンストレーション

#### ● 初期検証用 PCIe 7.0 テストソリューション

シノプシス社およびテクトロニクス社と共同で、MP1900A のモジュール PAM4 PPG MU196020A を用い 64 Gbaud PAM4 信号を、長距離チャンネルを通してシノプシス社の PCIe 7.0 PHY IP レシーバに送信し、PCIe 7.0 の評価を行うシステムを紹介しました。

また、シノプシス社の PCIe 7.0 PHY IP とテクトロニクス社のリアルタイムオシロスコープを使用して、128 GT/s での SNDR 測定と波形解析による信号送信機テストを実施しました。

この統合ソリューションは、既存の PAM4 PPG MU196020A を用いることで、PCIe 7.0 チップの設計・開発を進めるお客様に最適な環境を提供します。

#### ● PCIe 6.0 差動スキュー評価

アンリツは、テレダイン・レクロイ社と共同で、PCIe 6.0 における差動スキューの影響を評価するソリューションも紹介しました。

PAM4 信号は従来の NRZ 信号に比べて、アイパターンの振幅が 3 分の 1 以下になるため、マージン感度が高くなります。特定の ISI チャンネルを通過する信号は、スキューの影響により基本周波数のレベル低下を引き起こします。ほとんどの BERTS はスキューの評価機能を備えていませんが、アンリツは 2 つの PAM4 PPG MU196020A ユニットとチャンネル同期機能を使用して P-N スキューを挿入することを提案しています。

### シノプシス社について

シノプシス社のパートナーの各ブースでは、シノプシス社の専門家が、最高クラスの 224G イーサネット IP と PCIe 6.0/7.0 IP の次世代相互運用性のデモンストレーションを行いました。

シノプシス社は、SoC 設計向けに高品質で、シリコン実証済の半導体 IP ソリューションのリーディングプロバイダです。

シノプシス社について詳しくはこちら <https://www.synopsys.com/ja-jp/designware-ip>

### テレダイン・レクロイ社について

アンリツとテレダイン・レクロイ社は、最先端の設計を検証するための高精度なテストソリューションをエンジニアにいち早く提供するという共通の目標を掲げています。

DesignCon 2025 では、PCIe 6.0 および USB4 の完全統合自動送受信テストなど、高速シリアルデータ検証の共同ソリューションを展示しました。さらに、テレダイン・レクロイ社は PCIe 6.0 および USB4 インタフェースのレイヤをまたいだ物理デバッグおよびプロトコルデバッグ、PCIe 7.0 送信機の特性評価、DDR5/LPDDR5 解析およびデバッグツールのデモンストレーションを実施しました。

テレダイン・レクロイ社は、先進的なオシロスコープ、プロトコルアナライザ、その他、性能検証、コンプライアンス認証、複雑な電子システムを迅速かつ徹底的にデバッグするテスト機器のトップメーカーです。

テレダイン・レクロイ社について詳しくはこちら <https://ja.teledynelecroy.com/>

### テクトロニクス社について

テクトロニクス社のブースでは、コンプライアンス、パワー、メモリのテストにおける最新のイノベーションを、専門家との交流を通じてご体験いただきました。PCIe 6.0/7.0 検証テストの効率化、PCIe 6.0 CEM における 64GT/s 送受信テストの自動化、PCIe 7.0 基本仕様の 128GT/s 測定方法の探索をご紹介しました。40Gb/s での USB4v2 検証を効率化する方法や、エンジニアを支援する統合された DDR5 DRAM Tx/Rx テストワークフローもご覧いただけました。デモンストレーションでは、PI/SI 測定の改善によりエネルギー効率を達成するため、生成 AI (GenAI) データセンターの電力とシグナルインテグリティを最適化する方法などを実演しました。テクトロニクス社の専門家は、800G PHY トランスミッタの適合性を正確にテストすることで、AI/HPC 相互接続のネットワークングを実現する方法や、あらゆる電力試験アプリケーションに適応する柔軟なプラットフォームによる高電力バッテリー試験の拡張についても紹介しました。

テクトロニクス社は、パフォーマンスと可能性を追求する計測機器メーカーです。

テクトロニクス社について詳しくはこちら <http://www.tek.com/>

**MP1900A の詳細はこちら**

<https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/products/mp1900a>

アンリツの製品・ソリューション・その他の情報は、Facebook でもご覧いただけます。

<https://www.facebook.com/AnritsuTandM/>

**[報道関係のお問い合わせ先]**

アンリツ株式会社

コーポレートブランディング部 越野 文隆

TEL : 046-296-6671

E-mail : [PR@anritsu.com](mailto:PR@anritsu.com)